

# ピープルズ・ホープ・ジャパン 2013年度 事業計画

## 1. 概要

東日本大震災支援については前期に引き続き全日本病院協会と連携して被災地の病院機能の復興支援とともに仮設住宅や周辺住民への医療サービスが充実するように移動診療車の寄贈や不足している医療用品の配布などを支援していきます。一方PHJ主務の海外支援については、タイ、インドネシア、カンボジアの3ヶ国の支援事業の継続とともに第4ヶ国目の支援候補地としてミャンマー、ラオス等の現地調査を開始します。

## 2. 東日本大震災支援活動（総事業費 3888万円）

全日本病院協会と連携して被災した民間医院、クリニックへの復興支援を続けていきます。気仙沼では基幹病院である市立気仙沼病院への過度な入院や患者数の負担を多少でも緩和する為、復興から立ち上がったクリニックが周辺住民への医療サービスが充実するように移動診療車の寄贈や不足している医療用品、備品類の配布などを支援していきます。

また、石巻では行政と連携して、今も津波で家を流され仮設住宅で高齢者をはじめ、多くの住民が暮らしている地域での医療支援を計画しております。

## 3. タイ支援（総事業費 2501万円）

### ① HIV/エイズ予防教育支援（補助金事業）

従来の活動方法は最小限とし、過去10年以上にわたる教育効果把握のために、外務省の補助金を得て、その教育効果測定を行うプロジェクトを進め、今後のさらなる事業展開を考えていきます。

### ② 子宮頸がん・乳がん検診推進支援（補助金事業）

外務省の補助金により2010年11月から開始した3年計画の活動を継続していきます。2012年10月末には第二年度の活動地であるサンサイ郡、ドイサケット郡での活動レビューを行い、その結果を踏まえ、11月より最終年度となる第三年度の活動を、ハンドン郡、サンパトン郡にて開始していきます。

### ③ HOPE パートナー教育支援（自主事業）

1998年以来継続している「里親制度」プログラムを見直し、長期療養・リハビリが必要な子供達あるいはタイ国籍を持たない子供達を除き、タイでの医療保険制度の改善により無料で治療が受けられるようになった半分の約30名を卒業させます。残り約30名に対しては、看護師・理学療法士と共に家庭訪問し、リハビリ治療を行うなど、個別対応のホームケアに力を入れて継続します。また、担当の子供が卒業する支援者には、小児先天性心臓病手術のご支援をお願いする予定です。

### ④ 小児先天性心臓病手術支援（自主事業）

今年度も昨年に引き続き多くの企業からの支援のもと、子ども達の心臓病手術支援を行います。従来のチェンマイ大学に加え、ランパン病院での手術を拡大する他、タイ国籍を持たない子供への支援も検討していきます。

### ⑤ ベトナムハノイ乳がん予防教育支援（自主事業）

昨年に引き続き第二年度も、対象地区を変えて2012年12月まで活動を行います。2013年1月からは現地パートナーと事業地を変え、規模を拡大して事業を継続する予定です。

## 4. インドネシア支援（総事業費 1900万円）

### ① バンタン州地域保健医療システム強化事業（自主事業）

西ジャワのバンタン州セラン県で、MDGs 目標でもある安全な出産と子供の健康な発育を目指し、自治区の診療所を中心に村の保健サービス向上・活性化を目的とした地域医療連携システム強化事業を引き続き実施

します。今年度は母子保健のみならず、健康に暮らす環境（衛生）面にも活動対象を広げ、また緊急搬送患者・異常出産にも対応できる救急搬送システムの構築に着手します。村で良質な保健・医療サービスを提供する保健センター（Poskesdes）建設支援はソーラー深井戸付を基本仕様として着実に実施します。「栄養改善活動」では、栄養教育センターを活用して今まで開発した栄養メニューの浸透を図ると共に、2年目に入った栄養菜園の拡張を図ります。

## ② 画像診断技術教育支援(自主事業)

バリ州ギアーニア病院・地域診療所の医師・技師を対象に、日本から検査技師を派遣して画像診断教育を継続実施し、診断能力の一層の向上・強化を図ります。不足している画像診断機器の支援も実施する計画です。

## ③ 感染症予防教育支援(自主事業)

インドネシアでは鳥インフルエンザやデング熱などの感染症も依然として多く、予防教育が重要な課題です。バリ州で実施した新型インフルエンザ（鳥・豚インフルエンザ）・狂犬病予防啓蒙教育に加え、本年度からHIV/AIDS 予防啓蒙活動を開始する計画です。

## ④ 口腔衛生予防教育支援(自主事業)

東バリ地区の歯科従事者を対象にした小規模小児矯正歯科技術教育セミナーを今年度も開催します。

## 5. カンボジア支援(総事業費 1822 万円)

### ① 母子保健改善のための健康な村作り事業(補助金事業)

コンポントム州での母子保健改善事業は、FY12 からの3年事業「健康な村作り事業」の2年目です。当事業は、村人の行動変容に焦点を当てた事業となっています。事業では、従来からの村人から選出された保健ボランティアによる保健教育に加え、母子保健に特化したボランティア育成や村から保健センター等への医療アクセスを改善するための村人運営による緊急搬送システム拡充を図り、母子保健改善を目指します。

### ② 助産師トレーニング(自主事業)

2007 年度よりプレイベン州で、地域の母子保健の鍵を握る保健センター助産師が、適切な助産サービスに必要な技能を修得することを目標に実践的トレーニングを実施しています。昨年度までに32名の助産師がトレーニングを修了し、技能向上はもちろん、助産数も増加するなど成果を上げ、州保健局からも高く評価されています。今年度は、昨年度州病院で集中トレーニングを受けた助産師のフォローアップを中心に活動を行います。

以上